

I. 調査結果

1. 人口

C0101-1 人口総数及び増加数

平成 27 年の山ノ内町の人口は 12,429 人で、いずれも都市計画区域内に居住している。町の人口は年々減少傾向にあり、平成 7 年から平成 27 年までの 20 年間に 4,522 人(26.7%)減少している。減少幅は平成 12 年に 6.2%、平成 17 年に 7.5%、平成 22 年は 7.0%、平成 27 年は 9.1%となっている。

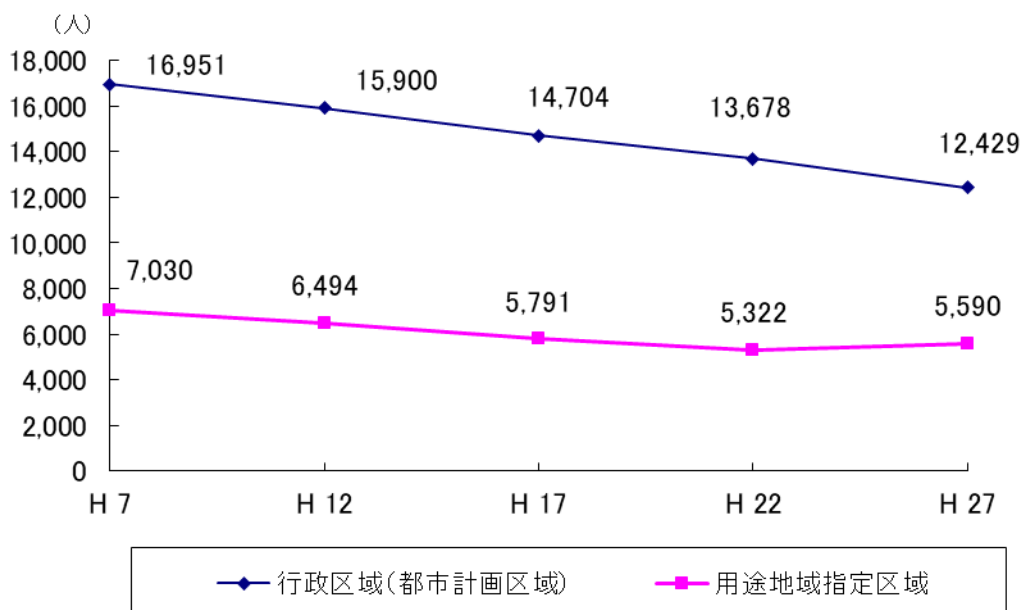
用途地域内人口は全人口の 44.9%を占めている。平成 27 年の増減率をみると、行政区域内は減少となっているが、用途地域内については増加となっている。用途地域内に居住をされる方が多くなっていることが考えられる。

図表 1－1 人口総数及び増加数

年次	行政区域			都市計画区域			用途地域指定区域		
	人口(人)	5年間の増減		人口(人)	5年間の増減		人口(人)	5年間の増減	
		人口(人)	率(%)		人口(人)	率(%)		人口(人)	率(%)
H 7	16,951			16,951			7,030		
H12	15,900	▲1,051	▲6.2	15,900	▲1,051	▲6.2	6,494	▲536	▲7.6
H17	14,704	▲1,196	▲7.5	14,704	▲1,196	▲7.5	5,791	▲703	▲10.8
H22	13,678	▲1,026	▲7.0	13,678	▲1,026	▲7.0	5,322	▲469	▲8.1
H27	12,429	▲1,249	▲9.1	12,429	▲1,249	▲9.1	5,590	268	5.0

(国勢調査より)

図表 1－2 人口の推移



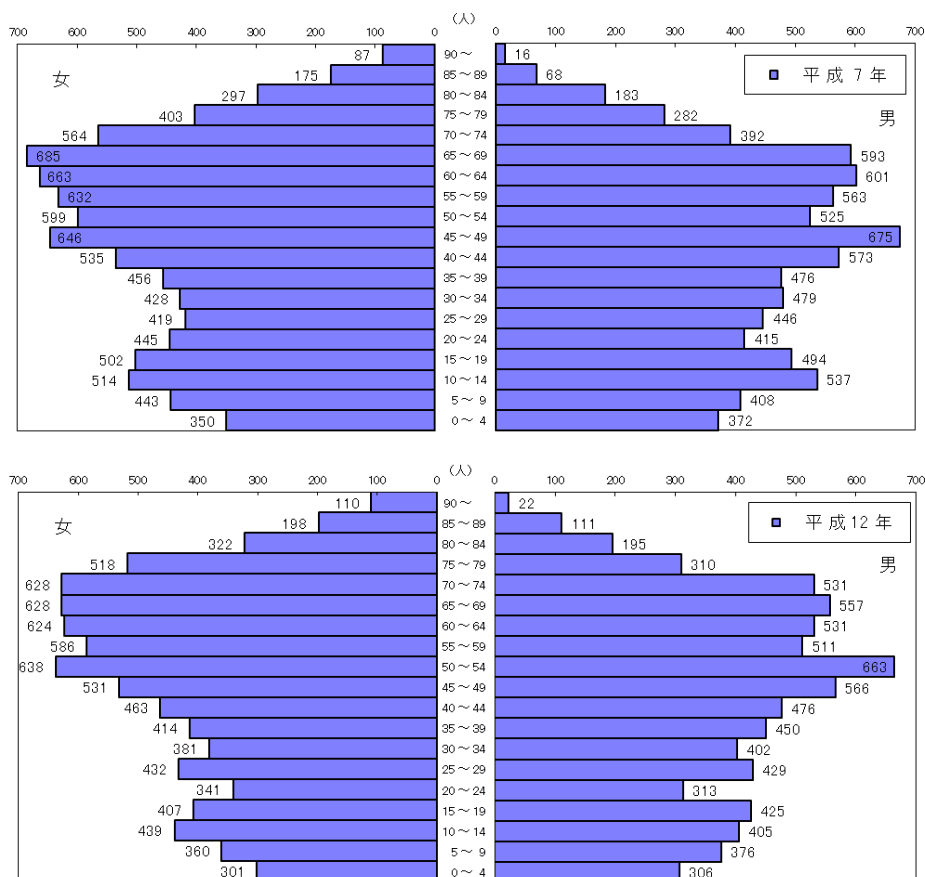
C0101-2 年齢・性別人口

平成 27 年の総人口は 12,429 人（内 25 人年齢不詳）で、平成 7 年の 16,941 人から 20 年間で 4,522 人（26.7%）減少しており、特に平成 22 年から平成 27 年までの 5 年間の減少幅が大きい。年齢構成を平成 7 年と比較してみると、年少人口（0～14 歳）の比率は 15.5% から 9.8% に減少し、出生率の低下による少子化の進展が顕著であり、少子化及び生産年齢人口（15～64 歳）の減少による将来の労働力不足が懸念される。老年人口（65 歳以上）の人口比率は 22.1% から 38.0% に増加し、高齢化の進展が著しい。特に 75 歳以上の高齢者の比率が拡大している。15～24 歳人口の推移をみると、平成 7 年の 1,856 人から平成 27 年には 853 人となり 1,003 人減少していて、20 歳前後の若年層の流出傾向がうかがわれる。

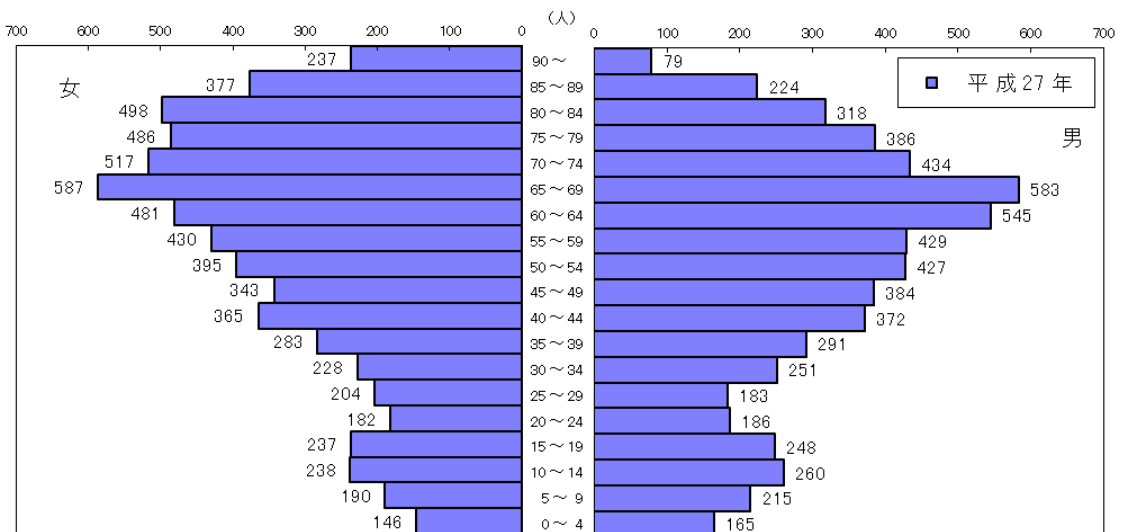
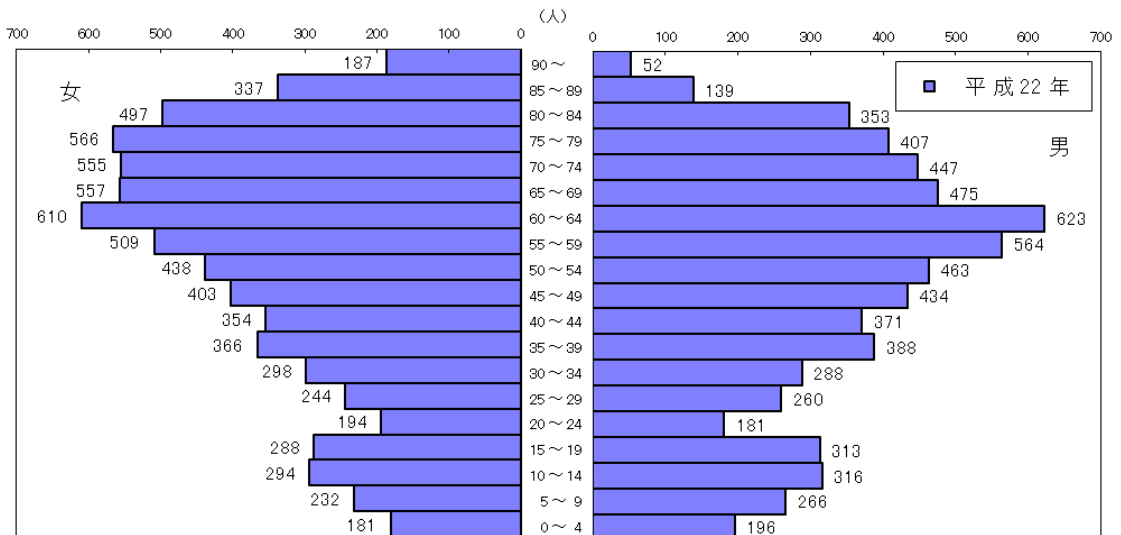
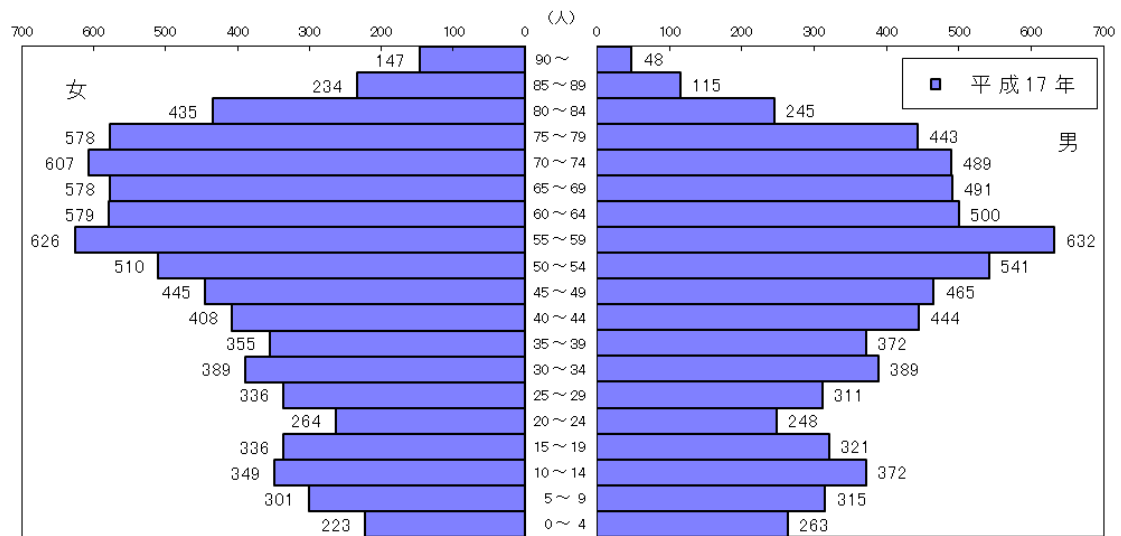
図表 1－3 年齢別人口推移

区 分	平成 7 年		平成 12 年		平成 17 年		平成 22 年		平成 27 年	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
年少人口 (0～14 歳)	2,624	15.5	2,187	13.8	1,823	12.4	1,485	10.9	1,214	9.8
生産年齢人口 (15～64 歳)	10,572	62.4	9,583	60.3	8,471	57.6	7,589	55.5	6,464	52.0
老年人口 (65 歳～)	3,745	22.1	4,130	26.0	4,410	30.0	4,572	33.4	4,726	38.0
年齢不詳	—	—	—	—	—	—	32	0.2	25	0.2
総 計	16,941	100.0	15,900	100.0	14,704	100.0	13,678	100.0	12,429	100.0
人口の増減	▲ 739		▲ 1,041		▲ 1,196		▲ 1,026		▲ 1,249	

図表 1－4 年代別人口構成比表（1/2）



図表1－4 年代別人口構成比表（2/2）



C0103 将来人口

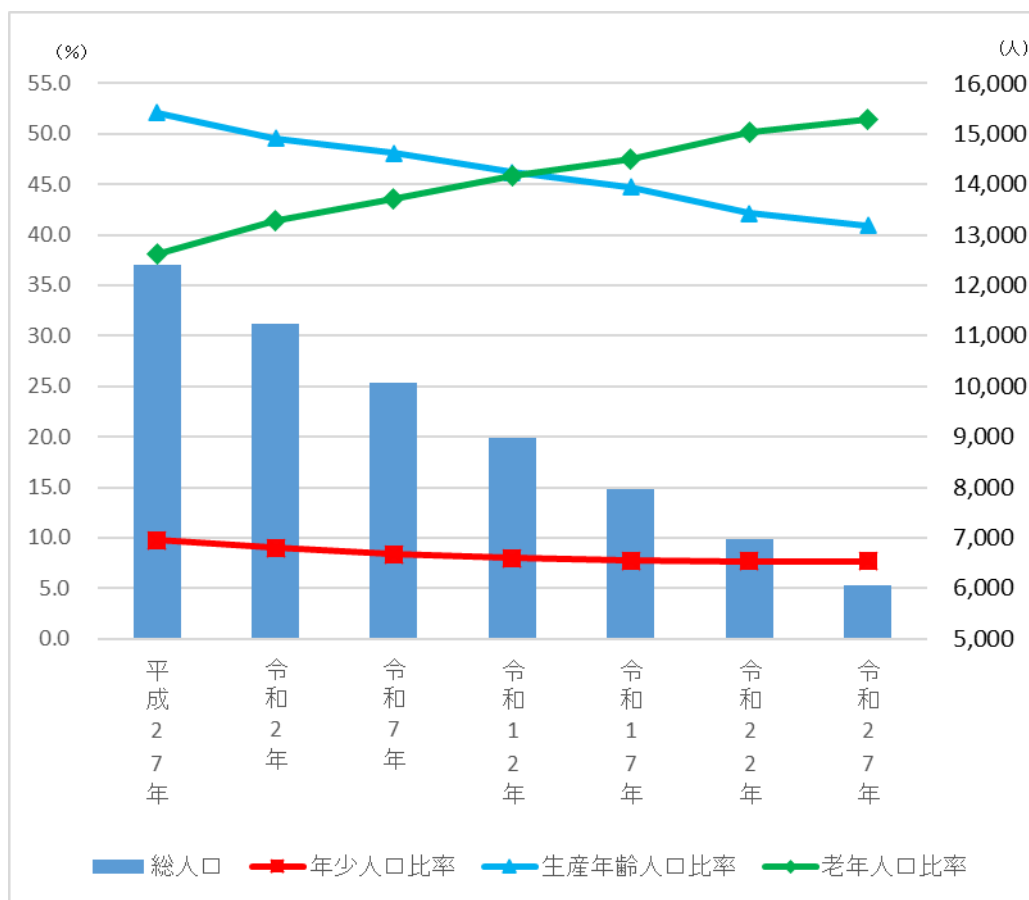
将来人口の推計によると、総人口は平成 27 年の 12,404 人（年齢不詳の 25 人を除く）から徐々に減少し、令和 27 年までの 30 年間で 6,064 人（48.9%）まで減少すると予想される。年齢構成を見てみると、年少人口（0～14 歳）の比率は 9.8%から 7.7%に減少する一方で、老年人口（65 歳以上）は 38.0%から 43.8%まで増加する。令和 17 年には生産年齢人口（15 歳～64 歳）を老年人口が上回ると推計され、少子高齢化による労働力不足が懸念される。

図表 1－5 将来人口

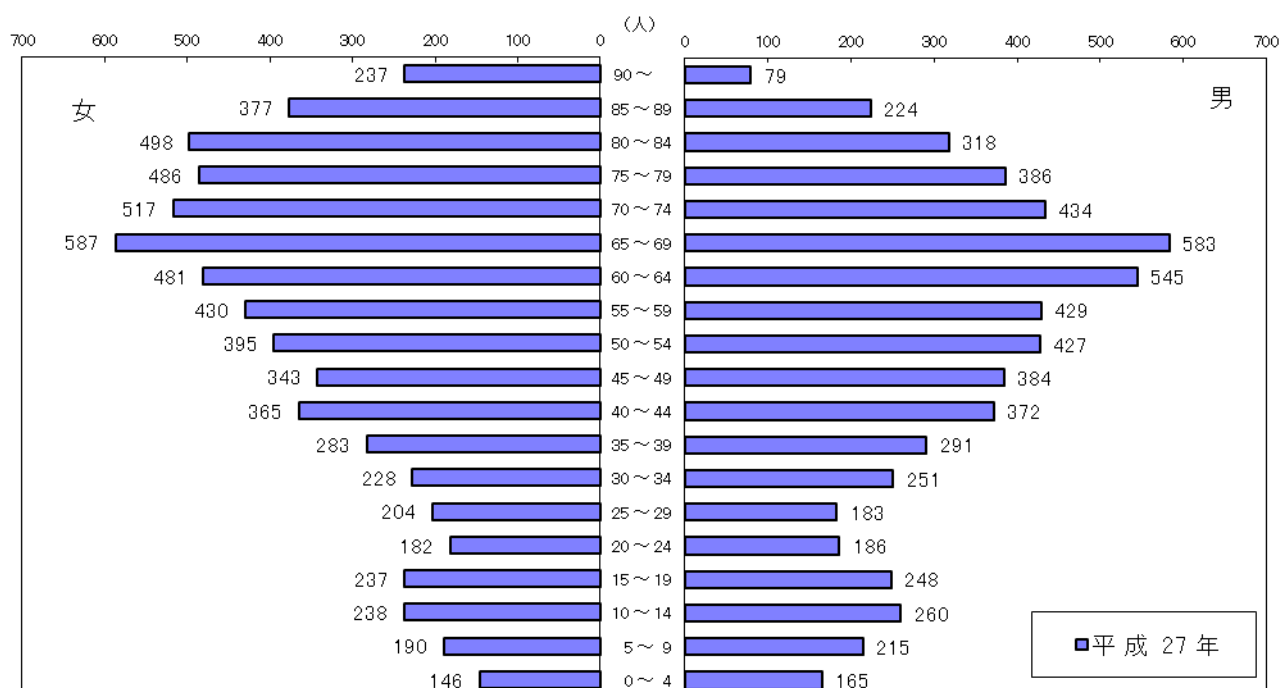
		平成 27 年			令和 2 年			令和 7 年			令和 12 年			令和 17 年			令和 22 年			令和 27 年		
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数		12,404	5,980	6,424	11,226	5,426	5,800	10,068	4,887	5,181	8,981	4,372	4,609	7,951	3,877	4,074	6,972	3,395	3,577	6,064	2,948	3,116
年 齢 階 級 別	0 ～ 4	311	165	146	269	138	131	222	114	108	191	98	93	169	87	82	146	75	71	121	62	59
	5 ～ 9	405	215	190	335	181	154	290	152	138	239	125	114	207	108	99	183	96	87	159	83	76
	10 ～ 14	498	260	238	405	210	195	334	176	158	290	148	142	239	122	117	208	106	102	184	94	90
	15 ～ 19	485	248	237	396	204	192	322	165	157	265	138	127	231	116	115	190	96	94	165	83	82
	20 ～ 24	368	186	182	301	148	153	246	122	124	199	98	101	164	82	82	143	69	74	118	57	61
	25 ～ 29	387	183	204	383	186	197	318	152	166	260	125	135	211	101	110	175	85	90	153	72	81
	30 ～ 34	479	251	228	369	176	193	367	180	187	306	148	158	252	123	129	205	99	106	170	84	86
	35 ～ 39	574	291	283	470	252	218	361	177	184	361	182	179	302	150	152	250	125	125	203	101	102
	40 ～ 44	737	372	365	562	278	284	458	240	218	354	169	185	355	175	180	297	144	153	246	120	126
	45 ～ 49	727	384	343	737	383	354	561	286	275	459	248	211	354	175	179	356	181	175	298	149	149
	50 ～ 54	822	427	395	713	377	336	723	376	347	551	281	270	452	244	208	348	172	176	350	178	172
	55 ～ 59	859	429	430	811	423	388	706	375	331	714	373	341	544	279	265	446	242	204	345	171	174
	60 ～ 64	1,026	545	481	824	417	407	781	414	367	680	367	313	690	366	324	526	274	252	432	238	194
	65 ～ 69	1,170	583	587	983	518	465	788	395	393	748	393	355	652	349	303	662	348	314	505	261	244
	70 ～ 74	951	434	517	1,091	540	551	909	475	434	731	363	368	695	362	333	607	322	285	616	322	294
	75 ～ 79	872	386	486	851	376	475	979	472	507	816	415	401	659	319	340	628	319	309	550	285	265
	80 ～ 84	816	318	498	738	307	431	725	302	423	842	385	457	700	339	361	572	263	309	546	265	281
	85 ～ 89	601	224	377	588	207	381	539	204	335	537	204	333	631	266	365	525	235	290	436	185	251
	90 ～	316	79	237	400	105	295	439	110	329	438	112	326	444	114	330	505	144	361	467	138	329

（国立社会保障・人口問題研究所HPより）

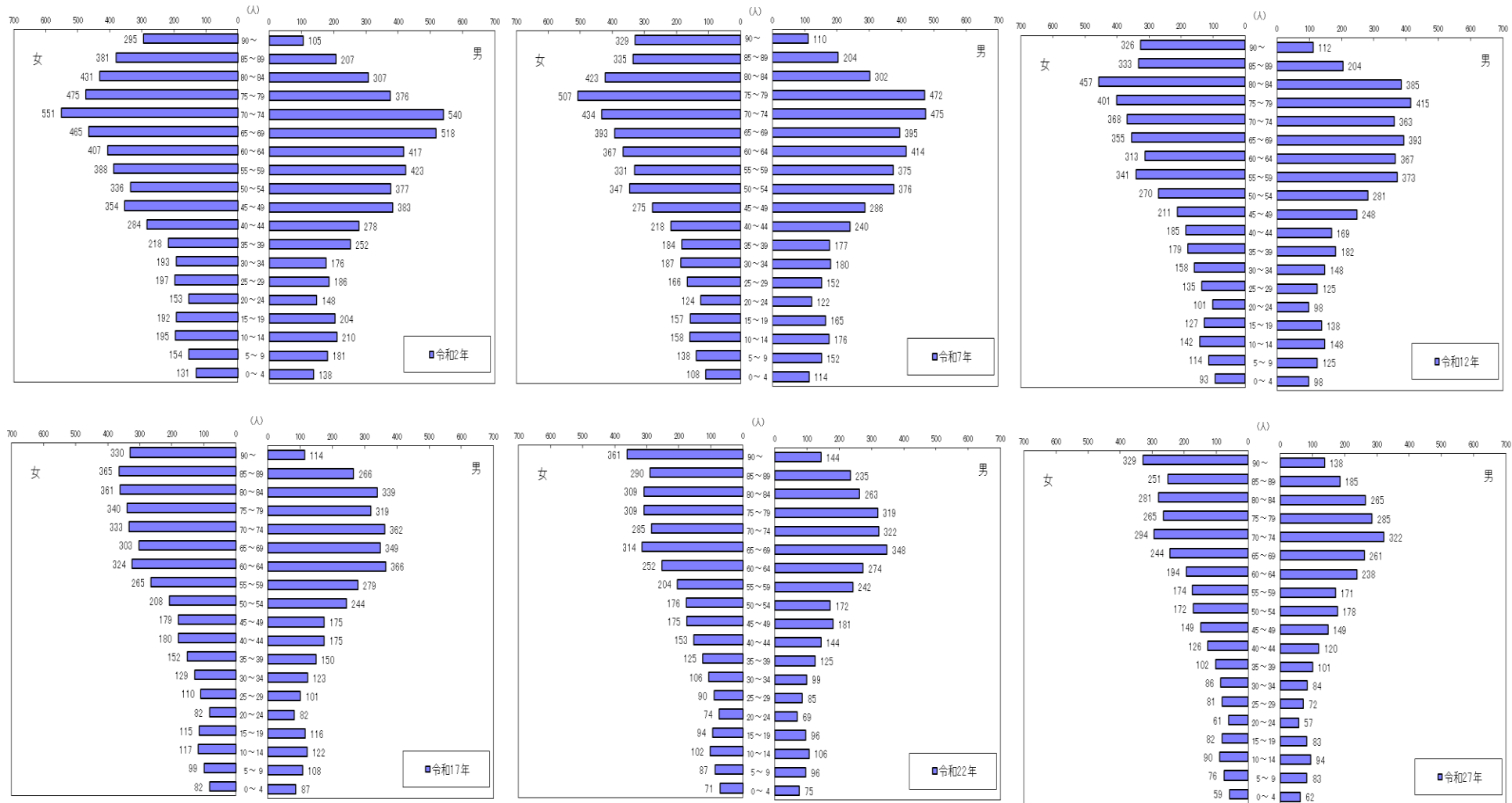
図表 1－6 将来人口の推移



図表 1－7 年代別人口構成比表（実績値：平成 27 年）



図表 1－8 将来人口年代別人口構成比表



人口の推計

令和 27 年を目標年次に行政区域内人口を推計する。

推計は次の方法で行なうことにする。

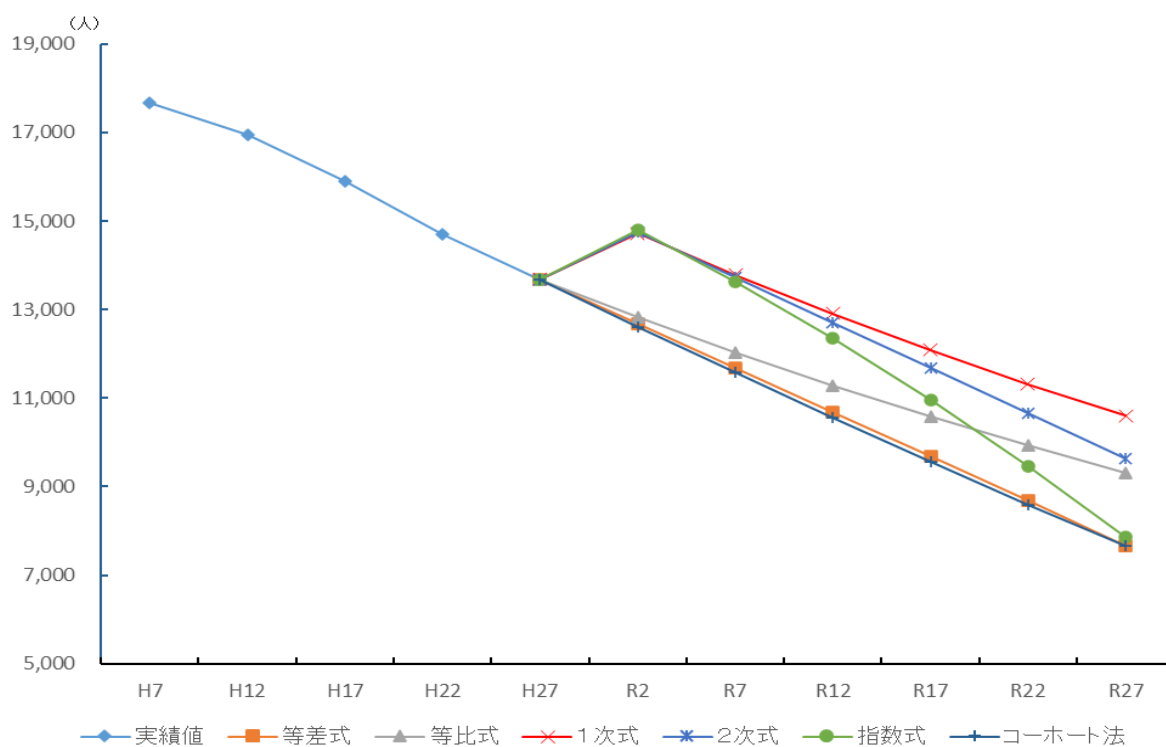
- ① 延長法による推計
- ② コーホート法による推計

以上の結果を次の表にまとめる。

図表 1－9 将来人口の推計

推計方法	R2	R7	R12	R17	R22	R27
① 等差級数式	11,301	10,173	9,045	7,917	6,789	5,661
① 等比級数式	11,503	10,646	9,853	9,119	8,439	7,811
① 指数式	13,555	12,549	11,617	10,755	9,956	9,217
① 一次方程式	13,606	12,481	11,357	10,232	9,107	7,983
① 二次方程式	13,623	12,446	11,234	9,986	8,703	7,385
② コーホート法	11,226	10,068	8,981	7,951	6,972	6,064

図表 1－10 人口推計図



C0104 人口増減の内訳

人口増減の内訳をみると、自然動態は死亡数が出生数を上回り自然減が続いている。特に平成 20 年以降、毎年 100 人を超える自然減となっている。

社会動態についても、転入数より転出数が上回り、自然減とあわせ総人口の減少をもたらしている。令和元年については転入数が転出数を上回り、社会増になっている。

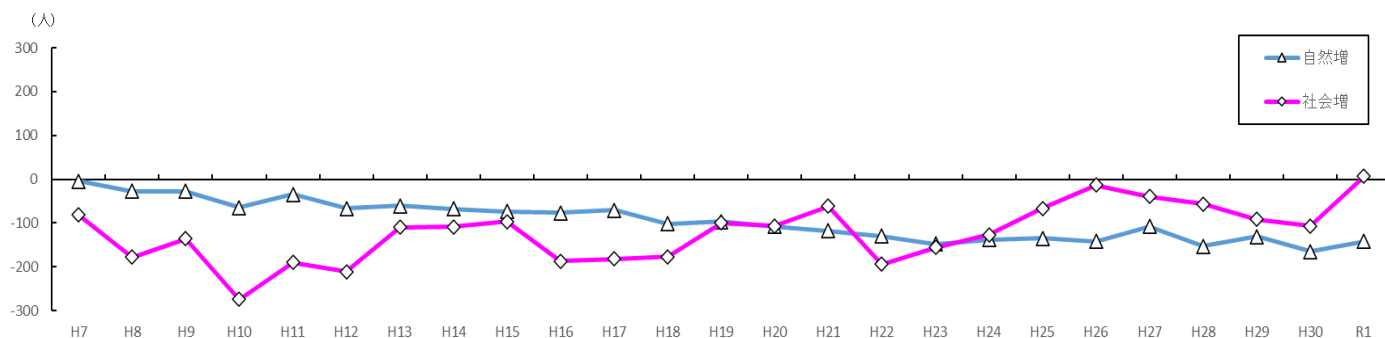
平成 27 年から令和元年までの 5 年間で、転入者は 2,368 人、転出者は 2,657 人で、平成 22 年から平成 26 年までの 5 年間と比較すると、転入者、転出者は増加している。

図表 1－1 1 人口増減の内訳（行政区域）

項目 年度	自 然 動 態			社 会 動 態			人口 増減
	出生数 (人)	死亡数 (人)	自然増 (人)	転入数 (人)	転出数 (人)	社会増 (人)	
H 7	139	143	▲4	642	724	▲82	▲86
H 8	148	176	▲28	552	730	▲178	▲206
H 9	124	152	▲28	693	829	▲136	▲164
H10	124	189	▲65	442	716	▲274	▲339
H11	112	147	▲35	540	730	▲190	▲225
H12	103	170	▲67	468	679	▲211	▲278
H13	119	180	▲61	498	608	▲110	▲171
H14	98	166	▲68	466	575	▲109	▲177
H15	98	172	▲74	453	550	▲97	▲171
H16	97	174	▲77	429	616	▲187	▲264
H17	88	159	▲71	355	537	▲182	▲253
H18	71	173	▲102	357	534	▲177	▲279
H19	91	188	▲97	418	518	▲100	▲197
H20	70	178	▲108	368	475	▲107	▲215
H21	67	185	▲118	433	495	▲62	▲180
H22	70	200	▲130	371	565	▲194	▲324
H23	57	205	▲148	361	517	▲156	▲304
H24	53	191	▲138	378	505	▲127	▲265
H25	71	206	▲135	384	451	▲67	▲202
H26	55	197	▲142	436	449	▲13	▲155
H27	71	179	▲108	440	480	▲40	▲148
H28	45	198	▲153	427	484	▲57	▲210
H29	54	185	▲131	459	551	▲92	▲223
H30	57	222	▲135	466	573	▲107	▲272
R1	43	185	▲142	576	569	7	▲135

（毎月人口異動調査報告より）

図表 1－1 2 人口増減の内訳（行政区域）



C0105 通勤・通学移動

就業者の流出入別人口では、常住地による就業者は平成 22 年から 6.5%減少し、従業地による就業者も 7.1%減少している。流出率・流入率は増加傾向にある。

流出先としては中野市が最も多く 1,297 人(18.3%)、次いで長野市の 522 人(7.4%)、須坂市の 233 人(3.3%)の順である。流入先は中野市が最も多く 736 人(12.4%)、次いで長野市の 128 人(2.2%)、飯山市 77 人(1.3%)の順になっている。

通学者の流出入別人口では、常住地による通学者は平成 22 年から 18.7%減少し、従業地による通学者も 26.8%減少している。流出率・流入率はやや減少傾向にあり、平成 27 年の流入者数は 0 人となっている。

流出先としては中野市が最も多く 151 人(33.4%)、次いで長野市の 101 人(22.3%)、須坂市の 74 人(3.3%)の順である。

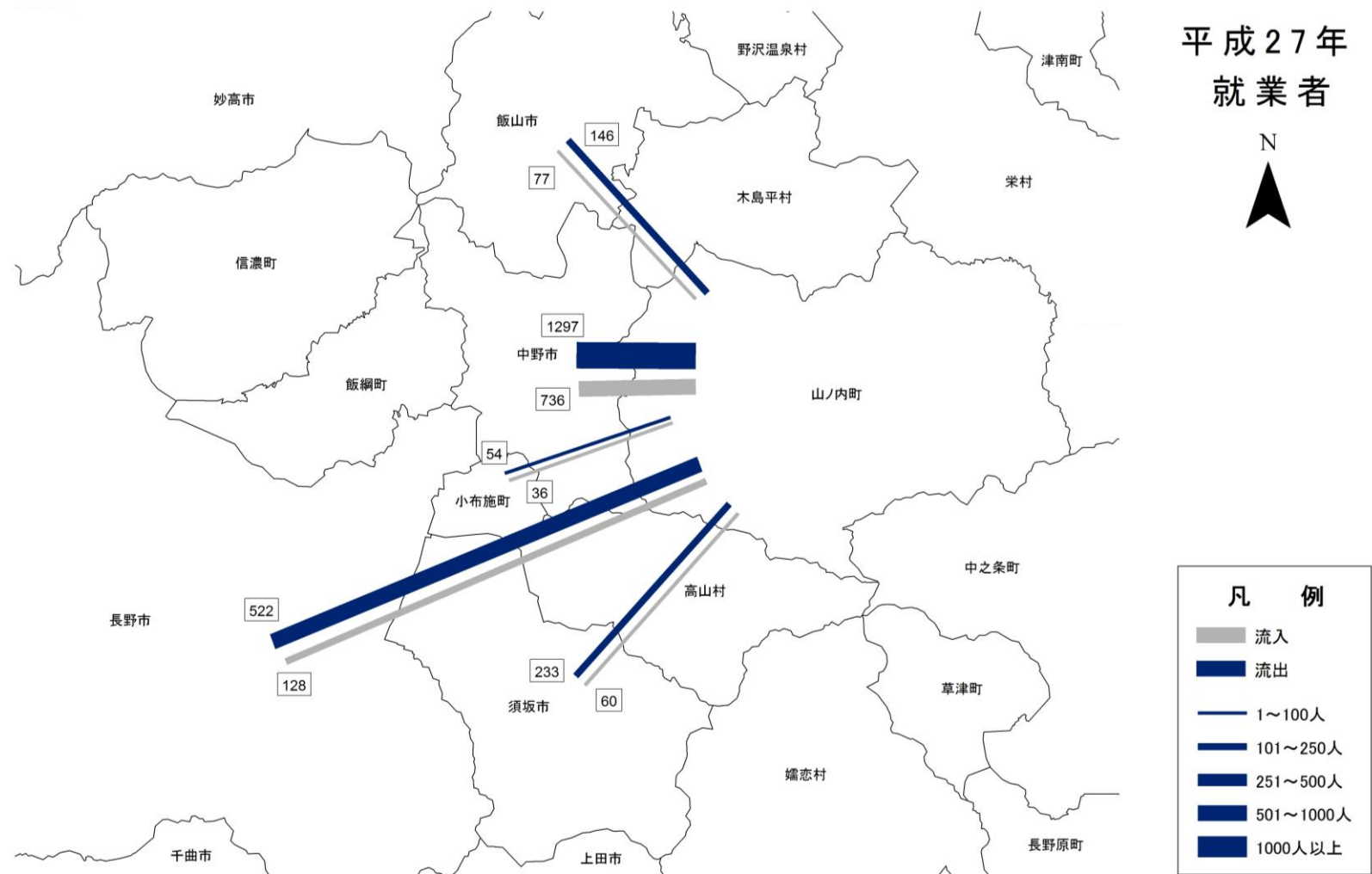
図表１－１３ 流出・流入別人口（就業者）

	常住地による 就 業 者 数	流 出		従業地による 就 業 者 数	流 入		従 / 常 就 業 者 比 率
		就 業 者 数	流 出 率		就 業 者 数	流 入 率	
平成 7 年	10,081 ^人	2,376 ^人	23.6 [%]	9,094 ^人	1,389 ^人	15.3 [%]	90.2 [%]
平成 12 年	9,936	3,138	31.6	8,074	1,276	15.8	81.3
平成 17 年	8,428	2,481	29.4	7,239	1,292	17.8	85.9
平成 22 年	7,587	2,448	32.3	6,377	1,192	18.7	84.1
平成 27 年	7,097	2,386	33.6	5,926	1,200	20.2	83.5

	流 出 先														
	流 出 率 第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流出者数 ^人	流出率 [%]	市町村名	流出者数 ^人	流出率 [%]	市町村名	流出者数 ^人	流出率 [%]	市町村名	流出者数 ^人	流出率 [%]	市町村名	流出者数 ^人	流出率 [%]
平成 7 年	中野市	1,320	13.1	長野市	539	5.3	須坂市	228	2.3	飯山市	109	1.1	小布施町	38	0.4
平成 12 年	〃	1,695	17.1	〃	723	7.3	〃	329	3.3	〃	132	1.3	〃	56	0.6
平成 17 年	〃	1,355	16.1	〃	556	6.6	〃	214	2.5	〃	141	1.7	〃	57	0.7
平成 22 年	〃	1,310	17.3	〃	561	7.4	〃	229	3.0	〃	120	1.6	〃	60	0.8
平成 27 年	〃	1,297	18.3	〃	522	7.4	〃	233	3.3	〃	146	2.1	〃	54	0.8

	流 入 先														
	流 入 率 第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流入者数 ^人	流入率 [%]	市町村名	流入者数 ^人	流入率 [%]	市町村名	流入者数 ^人	流入率 [%]	市町村名	流入者数 ^人	流入率 [%]	市町村名	流入者数 ^人	流入率 [%]
平成 7 年	中野市	831	9.1	長野市	124	1.4	飯山市	87	1.0	須坂市	86	0.9	木島平村	49	0.5
平成 12 年	〃	811	10.0	〃	106	1.3	〃	97	1.2	〃	67	0.8	小布施町	41	0.5
平成 17 年	〃	812	11.2	〃	138	1.9	〃	93	1.3	〃	57	0.8	木島平村	38	0.5
平成 22 年	〃	770	12.1	〃	124	1.9	〃	78	1.2	〃	58	0.9	小布施町	37	0.6
平成 27 年	〃	736	12.4	〃	128	2.2	〃	77	1.3	〃	60	1.0	〃	36	0.6

（国勢調査より）



図表1－14 流出・流入状況図（就業者）

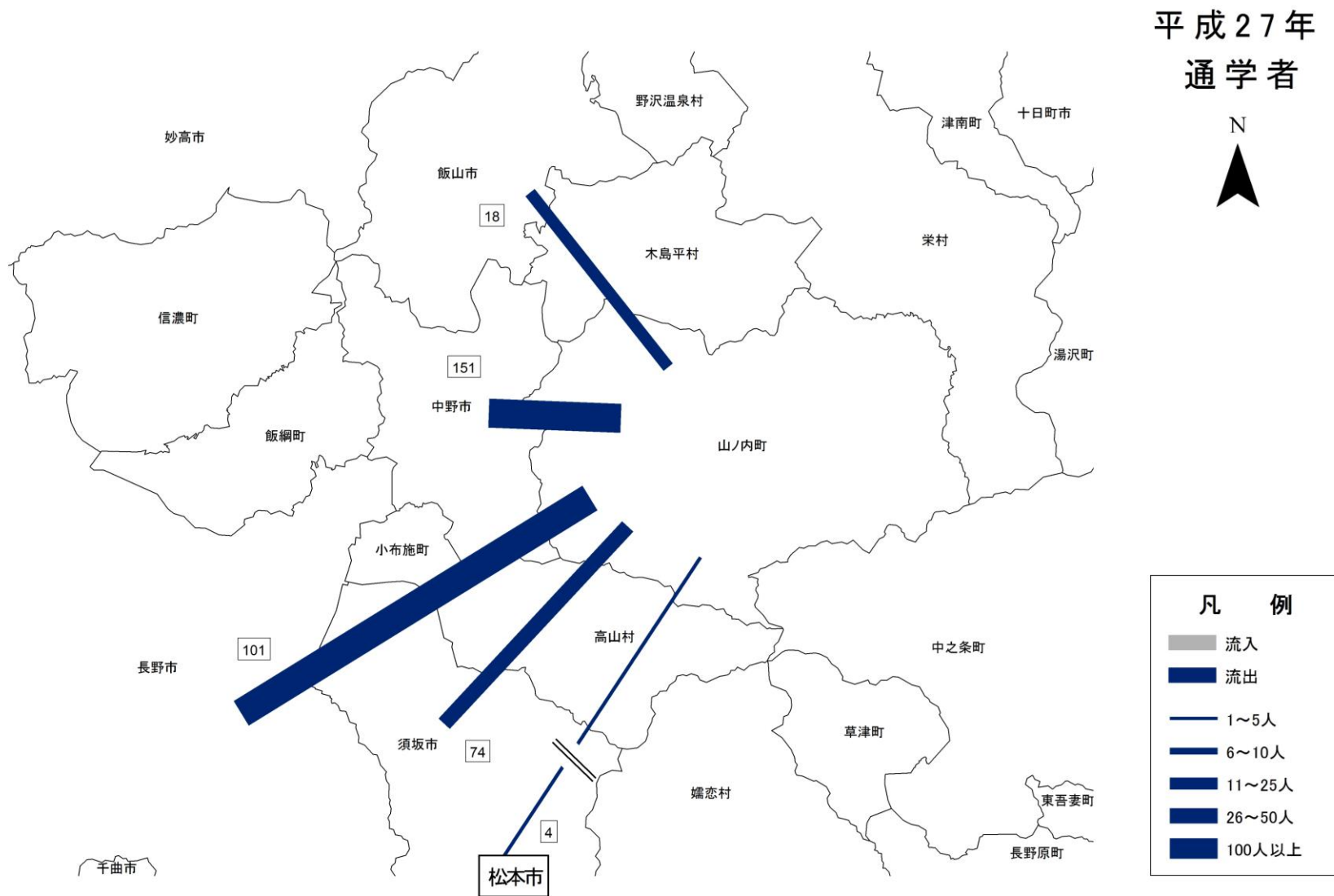
図表 1－15 流出・流入別人口（通学者）

	常住地による		流 出		従業地による		流 入		従 / 常	
	通 学 者 数		通 学 者 数	流 出 率	通 学 者 数	通 学 者 数	通 学 者 数	流 入 率	通 学 者 比 率	
	人		人	%	人		人	%		
平成 7 年	849		683	80.4	170		4	2.4	20.0	
平成 12 年	748		628	84.0	121		1	0.8	16.2	
平成 17 年	569		461	81.0	103		2	1.9	18.1	
平成 22 年	556		474	85.3	97		2	2.1	17.4	
平成 27 年	452		384	85.0	71		0	0.0	15.7	

	流 出 先														
	流 出 率 第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成 7 年	中野市	363	42.8	須坂市	155	18.3	長野市	142	16.7	飯山市	15	1.8	豊野町	3	0.4
平成 12 年	〃	345	46.1	長野市	163	21.8	須坂市	101	13.5	〃	15	2.0			
平成 17 年	〃	233	40.9	〃	98	17.2	〃	92	16.2	〃	19	3.3	松本市	4	0.7
平成 22 年	〃	224	40.3	〃	112	20.1	〃	100	18.0	〃	16	2.9	木島平村	3	0.5
平成 27 年	〃	151	33.4	〃	101	22.3	〃	74	16.4	〃	18	4.0	松本市	4	0.9

	流 入 先														
	流 入 率 第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成 7 年	中野市	2	1.2	長野市	1	0.6	飯山市	1	0.6						
平成 12 年	飯山市	1	0.8												
平成 17 年	中野市	2	1.9												
平成 22 年	〃	2	2.1												
平成 27 年															

（国勢調査より）



図表1－16 流出・流入状況図（通学者）